

マラプロジェクト 2024

大月の宝資源

ふれはアート広場

彫刻をさがそう!

ワークショップ

参加者にはふればソフトクリームを進呈!

- クイズ『彫刻の名前を当てよう』
正解者には
ママラのミニ鉛筆をプレゼント!
- マララの巨大鉛筆を立てよう!

9/8(日)
10~12時

ふれあいパーク・大月 テント側広場に集合!!

かつて大月町では特産の花崗岩を活用し、国際的な彫刻シンポジウムが2回も開かれました(1985年と1992年)。その時つくられた石の彫刻は合わせて17作品と記録にありますが、いま確認できるのは13作品だけで、それも草木に埋もれています。ふれあいパークの片隅で埋もれているこの彫刻群は巨費を投じてつくられた大月町の大切な資源であり宝です。

この宝資源を再活用するために、町民の皆さんとともに彫刻一つずつにネームプレートをつけるクイズ形式のワークショップを行います。また彫刻とつなげる形でマララの鉛筆を立て、ふれあいパークを町内外の人が集える憩いの場とします。大月町の芸術資源の有効活用のため、「ふればアート広場」にぜひご参集下さい。尚、このワークショップは9/15-29に大月町文化教育交流拠点COSAで開催の大月コンテンポラリーアート2024と連携したイベントです。

【催し名称】 マラプロジェクト 2024
彫刻をさがそう!

【開催日時】 2024年9月8日(日) AM10時~12時 小雨決行

【会場】 道の駅「ふれあいパーク・大月」
高知県幡多郡大月町弘見 2610
*集合場所: テント側広場

【アクセス】 宿毛駅から
・バスで30分(高知西南交通清水宿毛線「ふれあいパーク大月」下車)
・車で20分(R321)

【ワークショップ】 ●クイズ『彫刻の名前を当てよう!』
●『マララの巨大鉛筆を立てよう!』
ナビゲーター: 野口ちとせ、嵯峨美術大学有志 他

主催: くろしお芸術協議会

協賛: 大月町

協力: (一財)大月町ふるさと振興公社、大月町文化教育拠点COSA

後援: 大月町教育委員会、高知新聞社、RKC高知放送、KSSさんさんテレビ



彫刻作品名

クイズに答えながら
「1つずつに作品プレートを付けよう!」



草木に埋もれている石彫刻群



道の駅 ふれあいパーク・大月

野口ちとせ NOGUCHI Chitose

大阪生まれ。1990年初個展、以来国内外での展覧会多数(米、仏、韓国、ハンガリー)。『音・空・観』と題した造形やインスタレーションを展開し、近年は作品を媒体に生活空間を共有するプロジェクトを行っている。2015年から開始した巨大な鉛筆のオブジェ《マララの鉛筆 For Malalas》をシンボルとしたマララプロジェクトでは、高知県大月町と連携し、高さ2~3Mの赤い鉛筆80本余りを公道沿いや道の駅、廃校、民家に立てた。途上国の女子教育を支援する赤い鉛筆は、持続可能な世界の実現を目指し、辺地でいまでも増殖している。

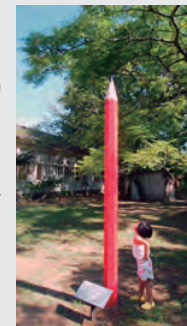


* マララの鉛筆について

「マララ」という名前は、ノーベル賞を受賞したマララ・ユスフザイさんからとりました。マララさんがノーベル賞を授賞した理由は、学校に行けない子どもたち、特に途上国の女子教育の普及活動を、イスラム過激派に銃で撃たれて重傷を負いながらも続けたからです。

「マララの鉛筆」は、マララさんの不屈の志に敬意を払い、教育の大切さと差別のない世界の実現を目指すシンボルとして、美術家 野口ちとせによって制作されました。マララプロジェクトはこの鉛筆作品をシンボルに、路上や施設等、町のあちこちに巨大な鉛筆(マララの鉛筆*)を立てるなど、現代アートを通じて、途上国の女子教育を支援し、差別のない世界の実現を目指す様々な活動を2015年より行っています。

活動の詳細 ▶ www.plus1art.jp/Ja_+1/MalalaP.html



大月町内のマララ鉛筆

大月町内の国道321号線沿いなどには高さが2~3mの赤い鉛筆が立っています。

・国道321号線沿い

- 📍 久米邸
- 📍 道の駅 ふれあいパーク・大月
- 📍 桜カフェ (大月町弘見鉦土 8-8)
- 📍 Waraya わらや (大月町姫ノ井)
- 📍 八坂宮へ (大月町姫ノ井)
- 📍 旧姫ノ井小学校
- 📍 旧月灘小学校
- 📍 二神商店 (大月町才角)
- 📍 小才角漁港完成記念碑・築港記念碑
- 📍 COSA (旧小才角小学校)

・他

- 📍 自遊学校 (大月町竜ヶ迫)
- 📍 Cafe ronoji
- 📍 森邸 (大月町安満地)

